

「①意欲を持って学ぶ子」

「②仲良く高め合う子」

「③強い心と体を鍛える子」

学校だより

屏風山

びょう ぶ さん

令和7年6月30日

瑞浪市立 稲津小学校

稲津小学校ホームページへのリンク→



稲津小

コミュニティ・スクール

目指す
子どもの姿

ふるさと大好き

～地域に誇りをもち、自分から動ける子～

コミュニティ・スクールの取組

校長 加藤 美香子

コミュニティ・スクールの活動は、本年度も4月から6月までの3か月間で、多くの活動を行っています。

関係の皆様のお力添えのおかげで、活動することができ、ありがたく思っております。

「コミュニティ・スクールは学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる『地域とともにある学校』への転換を図るための有効な仕組みであり、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができるもの（文科省）」です。保護者や地域の方に、取組を知っていただくことは、「地域とともにある学校」への転換には必要です。そこで、今年度もコミュニティ・スクールの取組を、学校だより「屏風山」などを通して、ご家庭や地域の方にさらに知っていただきたいと考えています。

5月の「いいなつつ農園のサツマイモ苗植え」では、6年生が司会や苗を配る役を任されました。苗植えや水やりも地域の方にコツを教えていただき取り組みました。

苗植えでは、植える向きが違っていることを地域の方からやさしく教えていただき、植え直す場面がありました。教わった子どもたちは、「ありがとうございます。」と自然にお礼を伝えていました。

スナッグゴルフの授業では、授業後に教室へ戻る際、講師の方に会釈をして「ありがとうございました。」と多くの子どもたちが伝えていました。

田植え体験のお礼の手紙には、「草刈りや田植えの手伝いをしてもらいました。また、苗の植え方を教えてくださったので、スムーズに植えることができました。ありがとうございました。」や「いつも食べているお米も、たくさんの人とたくさんの時間をかけているので、感謝して食べたいです。」などの思いが綴られていました。

地域の方と一緒に活動する中で、子どもたちは地域の方から大切にされていることを実感するとともに、感謝の心を育んでいます。



いいなつつ農園でのサツマイモの苗植えにて



地域講師の指導による田植え体験



厚生保護女性の会のみなさんと
本校環境委員会の児童との花壇づくり



地域講師の話を聞く稲荷神社探検